

伝法 東平第1号墳出土品 県文化財に指定



静岡県指定有形文化財に指定された東平第1号墳出土品中央の「T」形の鉄器が国内に4例の「丁字形利器」

富士市伝法の地にかつて存在した古墳「東平第1号墳」の出土品が「東平第1号墳出土遺物一括」として、令和4年12月2日、静岡県指定有形文化財に指定された。11月18日に静岡県知事から県文化財保護審議会へ諮問され、同日の答申を受けて、12月2日、県知事により告示された。



「ていじがたりき」
「丁字形利器」

を
含む
武器や馬具など

埋蔵文化財ニュース

2022年(令和4年)12月5日(第10号)
富士市教育委員会
文化財課
富士市埋蔵文化財調査室

東平第1号墳は、平成元年に新たに発見され、発掘調査が行われた古墳である。

埋葬施設である横穴式石室から

「丁字形利器」と呼ばれる特殊

な形の鉄器、鏝などの刀装具に獣の

象眼が施されたものを含む3振の大

刀、多数の鉄鍔や弓の金具、鏝や鏝

などの馬具が出土した。これらの遺

物から7世紀中頃(古墳時代終末期)

に造られた古墳と考えられている。

「丁字形利器」は、朝鮮半島で軍

事率軍を象徴する穴状鉄斧の形を

ひく鉄器である。木刀鉄斧の形に

変化した人物と朝鮮半島とのつなが

りを示すとともに、この人物が軍事

的な指揮権を有していたことが想定

される重要な資料である。

また、銀象嵌装鈔付大刀や、金銅製のものを含む複数組の馬具などからはヤマト王権との深い関わりが想定されている。

東平第1号墳は墳丘径約13mの

小規模古墳であるが、こうした品物を

を保有していることから、東駿河地

域では最上位に位置づけられる古墳

と言える。

東平第1号墳の出土遺物は、古墳

時代終末期の当地域に、ヤマト王権

や朝鮮半島とつながりを、馬や

鉄製品の生産を行ない、軍事的な指揮

権を有した武人の性格の強い有力者が

存在したことを示す。静岡県の古

代史を理解する上で欠かせない重要

な一括資料として、静岡県指定有形

文化財に指定されることとなった。

東平第1号墳 発見から県指定有形文化財へ

平成元年 11月	東平第1号墳 発見・発掘調査
2年 3月	『静岡県史』資料編2 考古二 にて調査成果の概要を報告
2年 6月	『東平第1号墳発掘調査概報』刊行
4年 3月	『静岡県史』資料編3 考古三 に重要遺物として遺物図が掲載される。
28年 4月	本報告書刊行に向けた整理作業を開始。県内の研究者による資料の調査・検討と考察論文の執筆。
30年 3月	本報告書『伝法 東平第1号墳』刊行。 ※ 報告書は富士山かぐや姫ミュージアムにて販売中
令和元年 10月	季刊考古学・別冊30「駿機山古墳と東国首長」東平第1号墳を含む伝法古墳群について研究発表
元年 12月	東平第1号墳出土品 富士市指定有形文化財に指定
2年 1月	富士山かぐや姫ミュージアム 第57回企画展
2年 3月	『東海の星を舞す 伝法 東平1号墳とヒメツの武蔵』展 ※ 展示内容は富士山かぐや姫ミュージアムにて販売中
2年 2月	富士山かぐや姫ミュージアムと静岡市立立石博物館の連携企画講演会「駿機山古墳と駿河の首長」 演題「伝法 東平1号墳の時代 —富士山南麓における地域開発の胎動—」
2年 6月	文化庁主催
3年 2月	「発掘された日本列島2020」展 伝法古墳群出土品が全国5箇所を巡回
4年 12月	「東平第1号墳出土遺物一括」 静岡県指定有形文化財に指定

